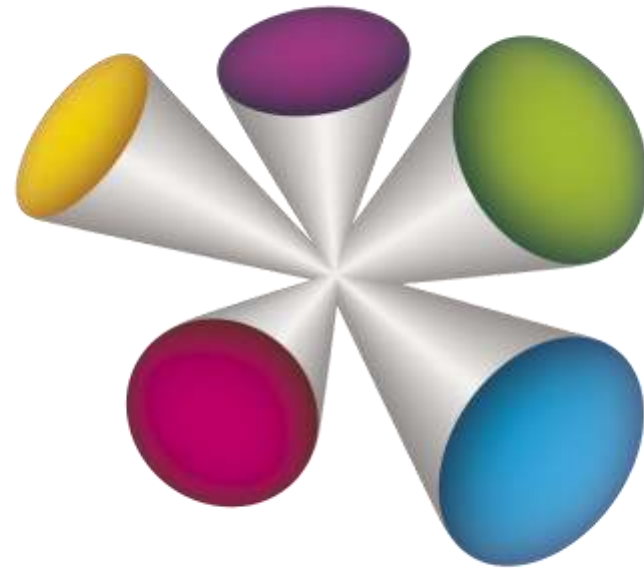


第3四半期(2009年4-12月) 連結決算説明

第27期

株式会社ワコム
(東証1部:6727)



第3四半期(2009年4-12月期)連結決算 のまとめ

世界経済は、景気底打ち感があるも、依然厳しい状況。当社業績は、設備投資や個人消費の低迷、前年同期比での大幅なドル安・ユーロ安により第3四半期累計では売上、利益ともに前期を下回った。

- 売上高は前年同期比 **12.4%減**
- 営業利益は前年同期比 **41.0%減**
- 経常利益は前年同期比 **37.5%減**
- 当期純利益は前年同期比 **33.2%減**

連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 第26期 3Q | 第27期 3Q | 対前年同期比較 | |
|--------|-----------|-----------|---------|--------|
| | 08年4-12月期 | 09年4-12月期 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 26,891 | 23,568 | △3,323 | △12.4% |
| 売上総利益 | 13,442 | 11,876 | △1,566 | △11.7% |
| 売上総利益率 | 50.0% | 50.4% | | |
| 営業利益 | 3,824 | 2,256 | △1,568 | △41.0% |
| 営業利益率 | 14.2% | 9.6% | | |
| 経常利益 | 3,739 | 2,337 | △1,403 | △37.5% |
| 当期純利益 | 2,296 | 1,533 | △763 | △33.2% |

- 3Q平均為替レート：第26期3Q 1ドル102.25円、1ユーロ 150.80円
第27期3Q 1ドル 93.73円、1ユーロ 132.69円

為替変動影響(円高)：売上高 20.4億円減
営業利益 9.0億円減

連結事業別セグメント

(単位:百万円)

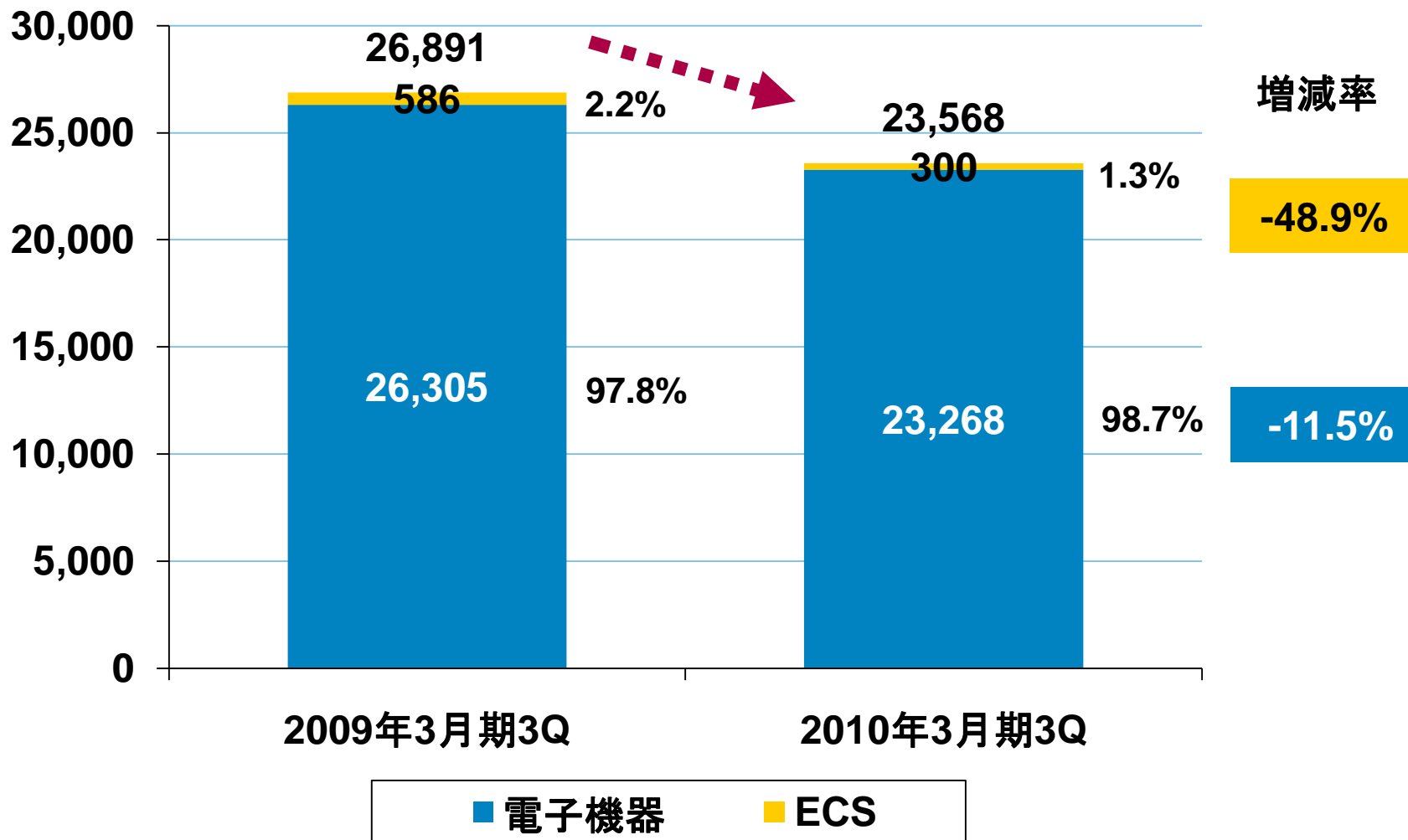
| | 第26期 3Q | 第27期 3Q | 対前年同期比較 | |
|---------|-----------|-----------|---------|--------|
| | 08年4-12月期 | 09年4-12月期 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 26,891 | 23,568 | △3,323 | △12.4% |
| 電子機器事業 | 26,305 | 23,268 | △3,037 | △11.5% |
| ECS事業 | 586 | 300 | △286 | △48.9% |
| 営業利益 | 3,824 | 2,256 | △1,568 | △41.0% |
| 電子機器事業 | 5,297 | 3,615 | △1,682 | △31.8% |
| ECS事業 | 36 | △76 | △112 | — |
| コーポレート他 | △1,509 | △1,283 | 226 | △15.0% |
| 営業利益率 | 14.2% | 9.6% | | |

連結売上高比較

(単位:百万円)

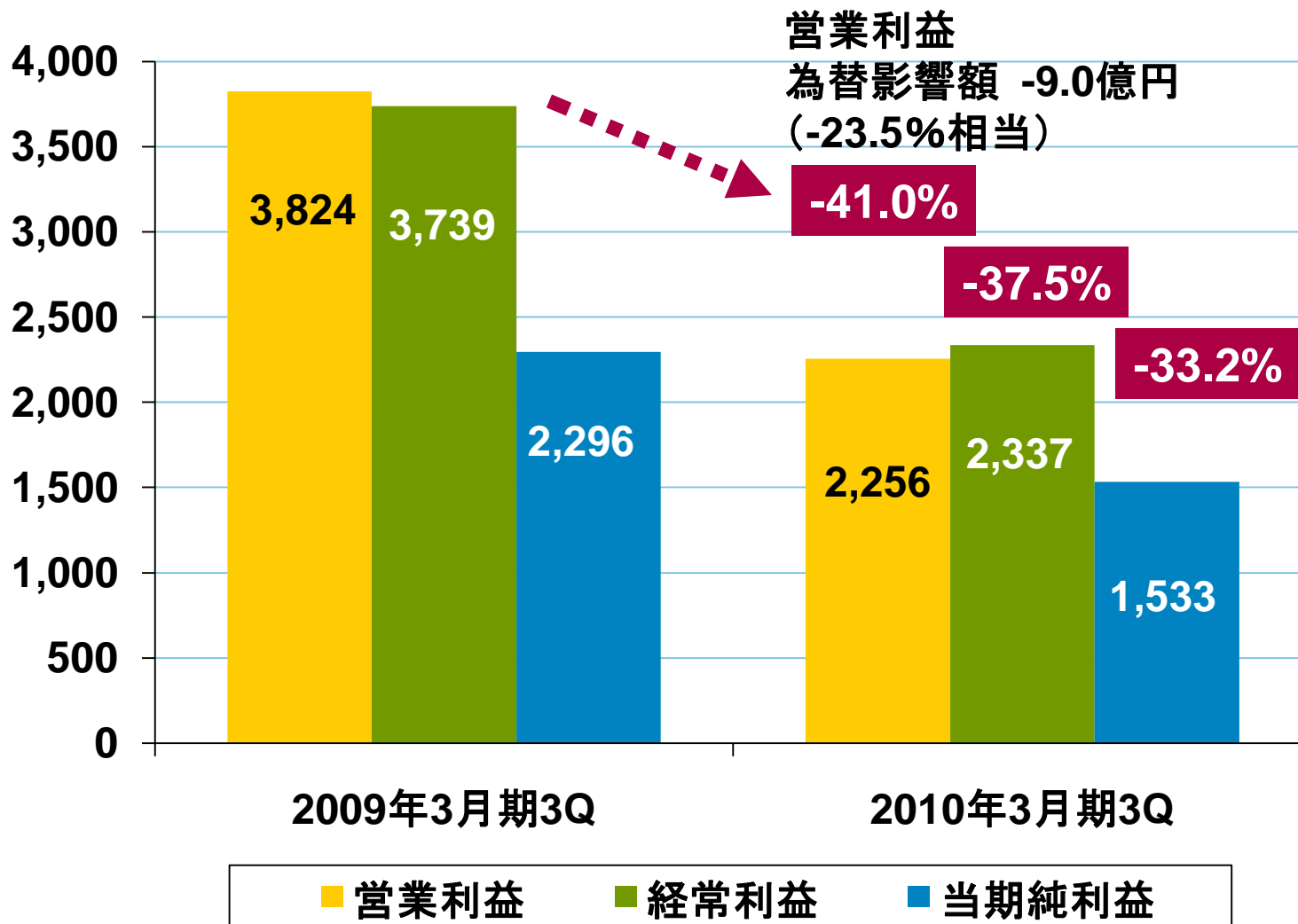
-12.4%

為替影響額 -20.4億円
(-7.6%相当)



連結利益比較

(単位:百万円)



販管費の主な内訳

(単位:百万円)

| | 第26期 3Q | 第27期 3Q | 対前年同期比較 | |
|----------|-----------|-----------|---------|--------|
| | 08年4-12月期 | 09年4-12月期 | 増減額 | 増減率 |
| 人件費 | 3,580 | 3,838 | 258 | 7.2% |
| 研究開発費 | 1,116 | 1,227 | 112 | 10.0% |
| 販促・広告宣伝費 | 1,504 | 1,545 | 42 | 2.8% |
| その他 | 3,418 | 3,009 | △409 | △12.0% |
| 販管費合計 | 9,618 | 9,620 | 2 | 0.0% |
| 売上高販管費率 | 35.8% | 40.8% | | |

主要増減項目

増加 : 前年同期比人員増、賞与引当金増、マルチタッチ技術開発費など

減少 : J-SOX関連費用、特許侵害訴訟費用、その他経費削減など

事業ハイライト -1

電子機器事業

タブレットビジネス

・ プロフェッショナルタブレット

+1.9%

- ・ 円高影響のなか、売上は微増
- ・ 昨年3月に発売した新製品Intuos4が好評
 - ・ 国内売上げは、前期比25%超の増加
 - ・ 米国はX'mas商戦が好調、欧州は3Qも前期並み維持(現地通貨ベース)
 - ・ アジアは中国と豪州が大幅増加、韓国も3Qより復調(同上)

・ 世界各国で数々の賞を獲得

red dot award, Plus X award,

TIPA awards (Europe),

グッドデザイン賞 (日本)

Editors' Choice: PC Magazine (US, SG)

Macworld (UK), Digital Photo 2010 (US)



reddot design award
winner 2009



PLUS X AWARD®



GOOD
DESIGN
2009



WACOM®



intuos₄

事業ハイライト -2

・ コンシューマタブレット

+1.6%

- ・ 「Bamboo」新シリーズにマルチタッチ技術を搭載し、昨年9月世界同時発売
 - ・ 2本指による簡単なジェスチャーにより、直感的なパソコン操作を実現
 - ・ ペンを使った細かいコンテンツ製作が可能
 - ・ グローバルに全13モデルを展開



- ・ 上期は、発売後2年を経た旧モデルが個人消費低迷や円高により売上減
- ・ 3QのX'mas商戦より新製品が寄与、円高影響のなか売上増に回復
 - ・ 国内売上げは、流通の一部不振などにより前期を下回る
 - ・ 海外は、3Qに入り米国、ドイツ、アジアで大幅に前期比増

事業ハイライト -3

・ 液晶タブレット

-18.8%

- ・ 企業の設備投資削減の影響を受け減少
- ・ 欧州と中国は前期を上回る(現地通貨ベース)
- ・ 汎用向け液晶タブレットは、ペーパーレス用途に市場浸透
 - ・ 国内は、医療や教育、ペーパーレス会議システム向けが堅調
 - ・ 欧州は、教育向けOEM案件が増加
 - ・ SignPad(電子サイン認証)が約3倍

医療向け
DTUシリーズ



文教向け
DTFシリーズ



電子サイン
認証向け
Sign Pad



東京証券取引所
ペーパーレス会議システム

事業ハイライト -4

・コンポーネントビジネス

-38.5%

- ・ 企業設備投資の減速、上期のWindows 7に向けたPC生産調整、円高影響や競合環境の変化により減少
- ・ Windows 7対応マルチタッチセンサーの量産を開始
 - ・ HP、レノボ、東芝、富士通 他の主要PCメーカーの複数機種に採用
 - ・ 高感度、省スペースに実現した G6(ICコントローラー)をHPが初採用
 - ・ 来年度の需要動向を見極めつつ、量産体制の整備と拡充

量産開始 顧客PCモデル数 (2010年3月期量産予定含む)

| PCインチサイズ | 10” 以下 | 12” | 13” | 14” 以上 | 計 |
|----------|-----------|-----|-----|-----------|----|
| PCモデル数 | 1 | 5 | 2 | 2 | 10 |

- ・ ユーザーインターフェース技術の新ブランド Wacom Feel IT Technologies 「ワコム・フィールイット・テクノロジーズ」を導入

Wacom Feel IT Technologies

- 当社のユーザインターフェースソリューションの新ブランド
タッチとペン、ディスプレイ技術などを統合し、高度な機能と自然で直感的な
使い心地を提供する。



feel™

- PCメーカー各社にペンおよび
タッチセンサーを提供

TOSHIBA

lenovo™

FUJITSU

Panasonic



Windows 7 対応マルチタッチセンサー

Wacom Feel IT Technologies

採用機種

Windows 7対応顧客PCモデル例



lenovo

ThinkPad X200



TOSHIBA

**Satellite M505
(US Consumer model)**



FUJITSU

**FMV-
8190/8290**



FUJITSU

**FMV-MT/E50
(Consumer model)**



**TouchSmart tm2
(Consumer model)**



hp

**Mini 5120
(Netbook)**



e-Books顧客例



Onyx



IREX



enTourage

事業ハイライト -5

電子機器事業

- ・ プロフェッショナルDJ機器「nextbeat」
 - ・ タッチ技術とワイヤレス機能で新しいプレイスタイルを提案する「nextbeat」を開発
 - ・ プロDJが世界各地の音楽イベントでデモンストレーション
 - ・ 9月より日本で、11月より欧州全域で発売開始



ECS事業

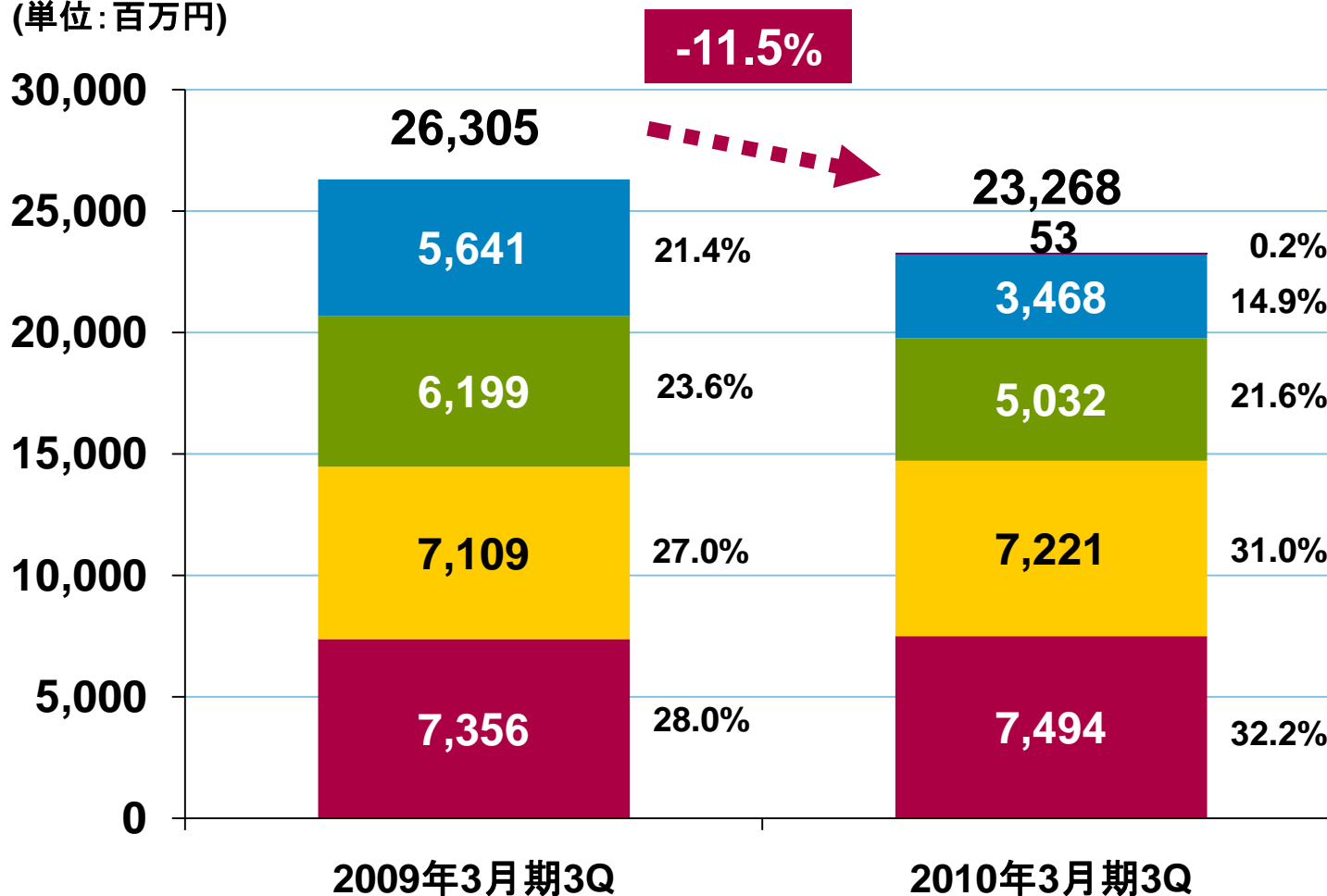
- ・ 電気設計CAD市場での「ECAD/dio Ver.10.0」を9月に発売、既存ユーザへ拡販、他社製品の置換え促進
- ・ 国内メーカーの設備投資低迷が続く厳しい環境のなか、ホームページを一新するなどユーザサポートの充実、トップシェアの実績を活かしたユーザ獲得を図る

管理部門

- ・ グローバルSCM、グローバルERPなどITインフラの整備・構築

電子機器 製品ライン別売上高

(単位:百万円)



増減率

前期実績無し

-38.5%

-18.8%

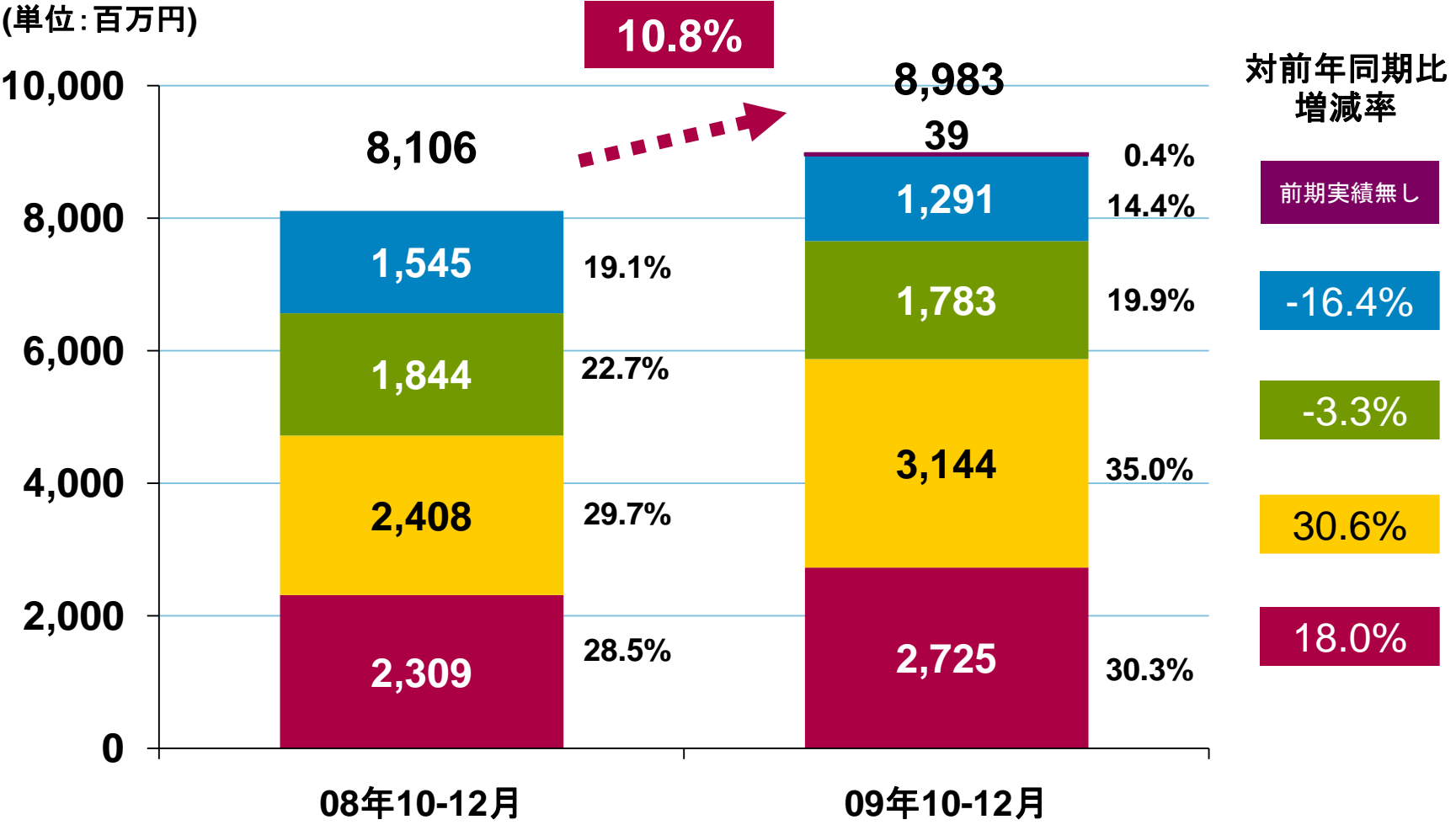
1.6%

1.9%

■ プロフェッショナル ■ コンシューマ ■ 液晶 ■ コンポーネント ■ NEXTBEAT

(参考) 電子機器 製品ライン別四半期売上高

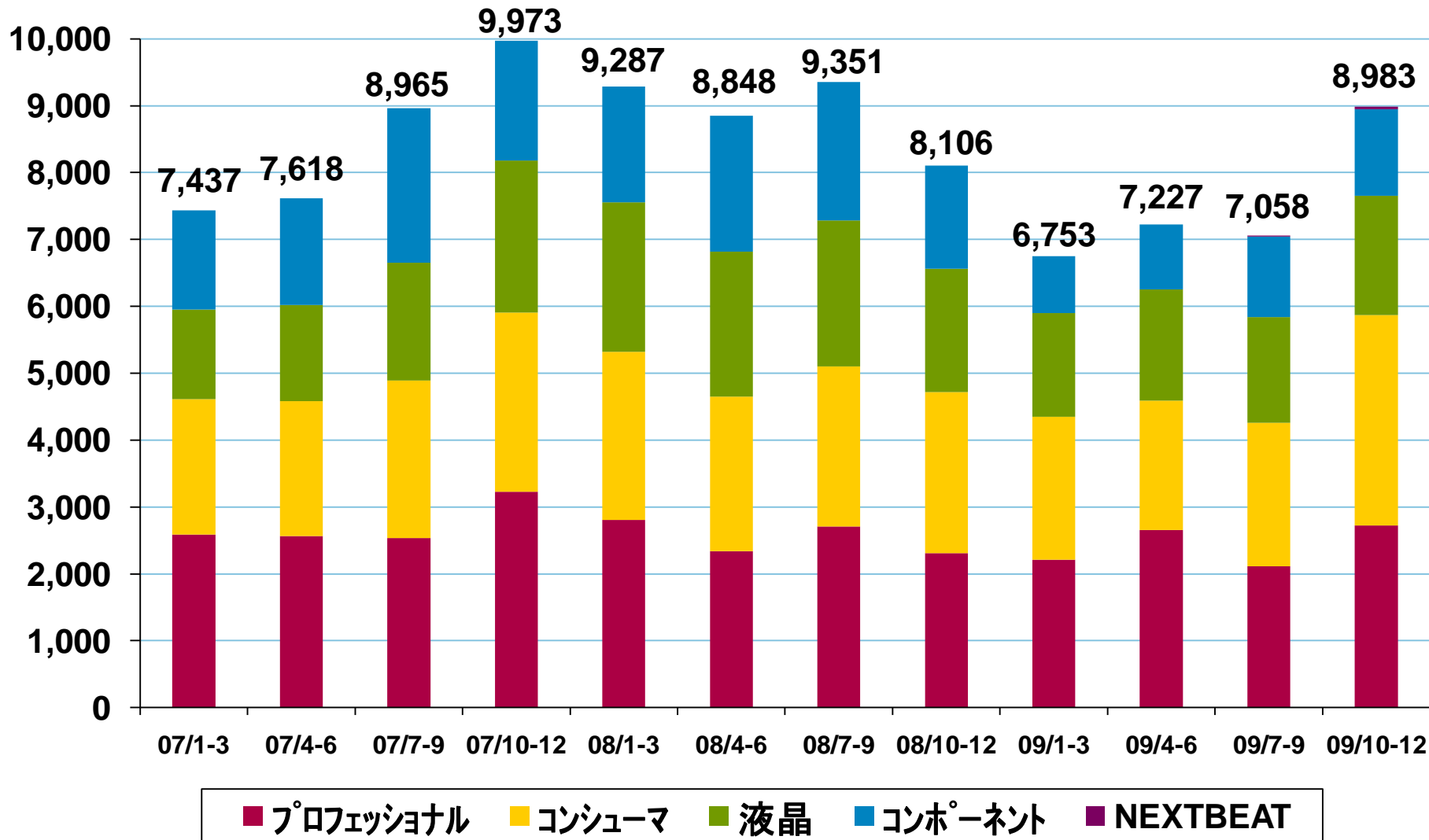
(単位: 百万円)



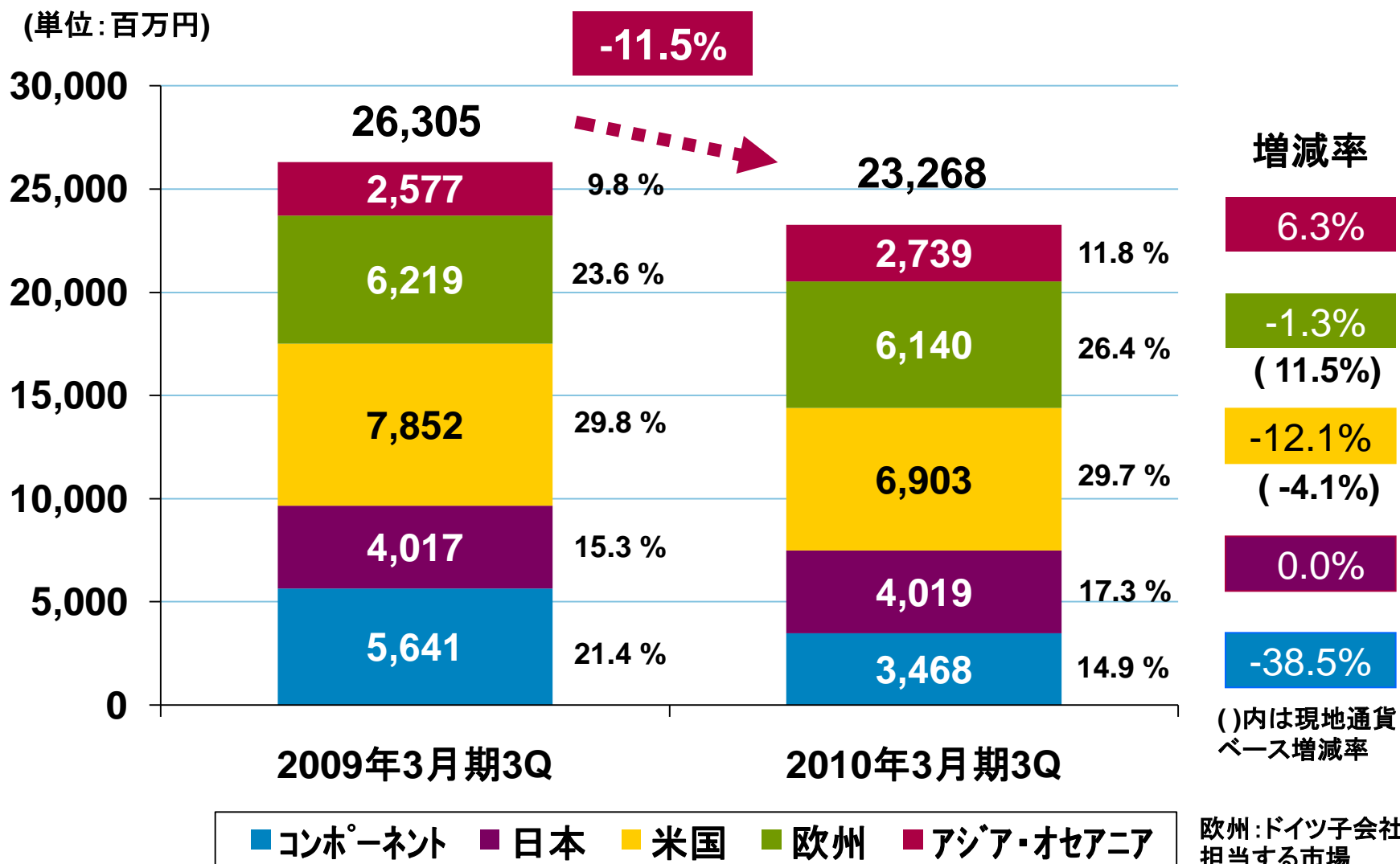
■ プロフェッショナル ■ コンシューマ ■ 液晶 ■ コンポーネント ■ NEXTBEAT

電子機器 製品ライン別売上高推移

(単位:百万円)



電子機器 所在地別売上高



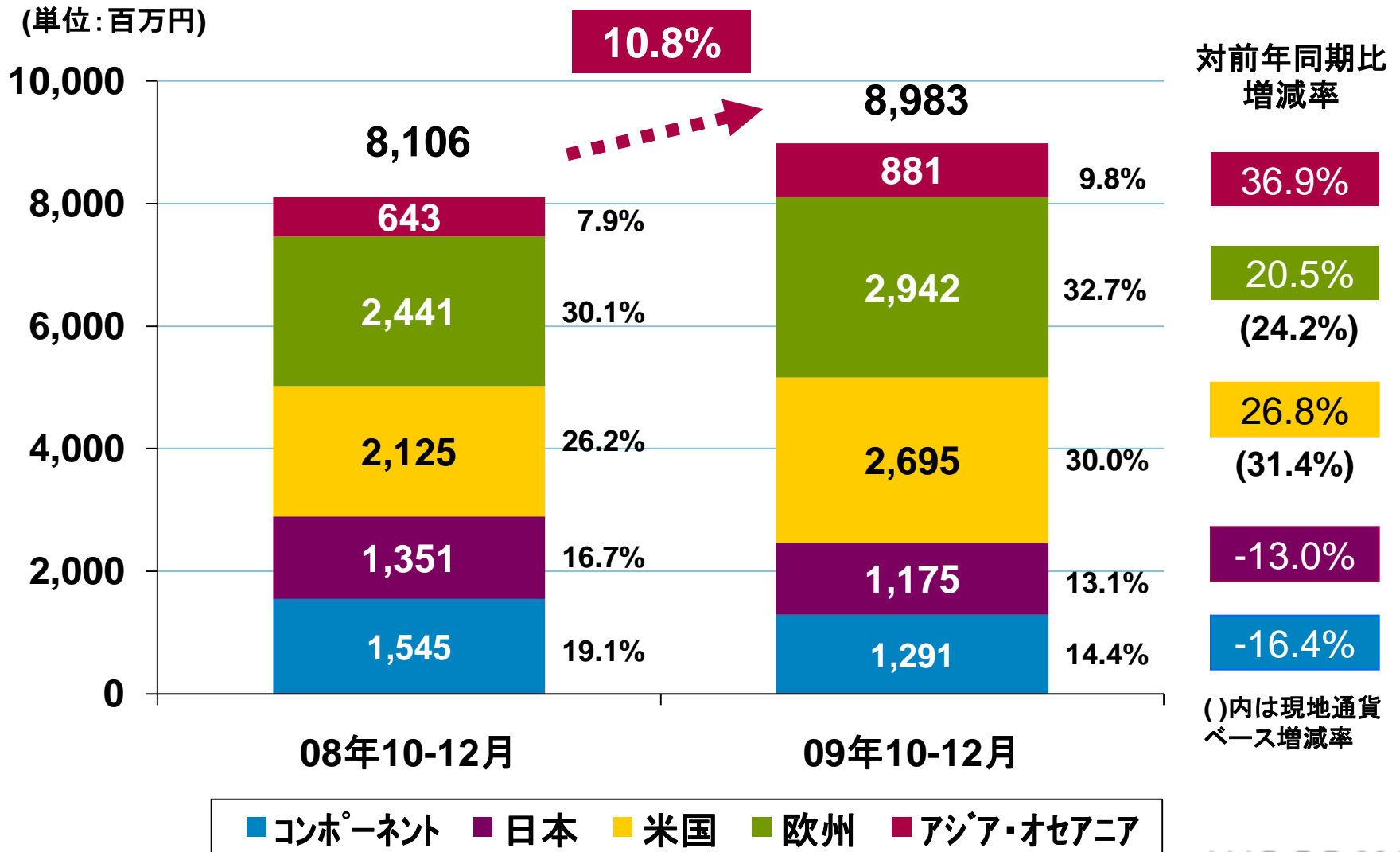
電子機器 所在地別売上高

現地通貨ベースの売上高増減率

(2009年4-12月期 前年同期比)

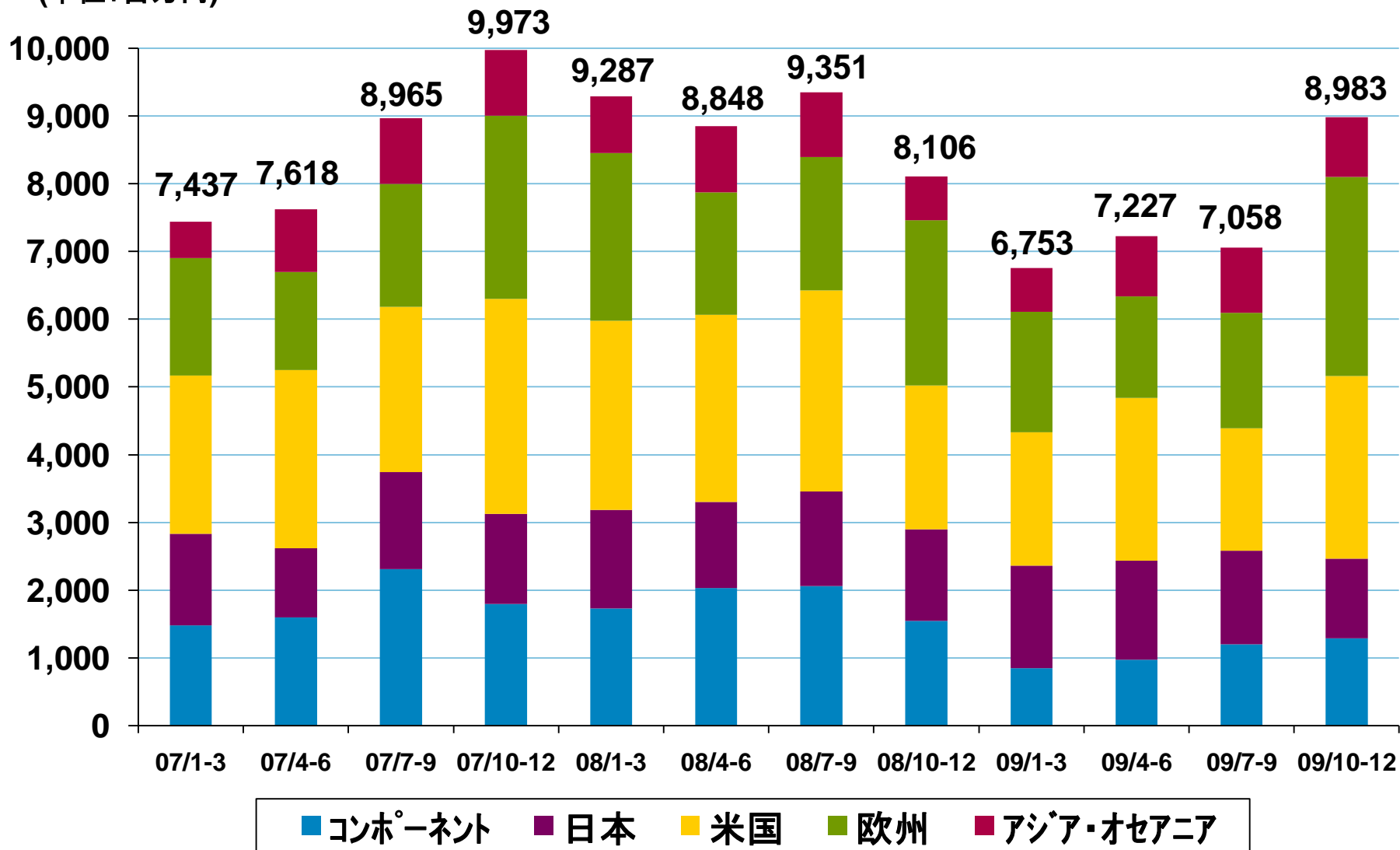
- 米国(USDドル) **△ 4.1%**
- 欧州(ユーロ) **11.5%**
- 中国(中国元) **36.6%**
- 韓国(韓国ウォン) **3.9%**
- 豪州(豪ドル) **17.6%**
- 香港(USDドル) **△ 4.3%**
- シンガポール(USDドル) **1.1%**

(参考)電子機器 所在地別四半期売上高



電子機器 所在地別売上高推移

(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 2009年3月末 | 2009年12月末 | 増減額 |
|--------------------|-----------|-----------|--------|
| 流動資産 | 20,808 | 23,232 | 2,424 |
| 固定資産 | 4,823 | 5,305 | 482 |
| 資産合計 | 25,631 | 28,537 | 2,906 |
| 流動負債 | 6,867 | 9,504 | 2,636 |
| 固定負債 | 967 | 1,109 | 142 |
| 負債合計 | 7,835 | 10,613 | 2,778 |
| 少数株主持分 | 0 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 17,796 | 17,924 | 128 |
| 負債純資産合計 | 25,631 | 28,537 | 2,906 |
| 自己資本比率 | 69.4% | 62.8% | △6.6% |
| 一株当たり純資産 (単位:円) | 44,303.37 | 44,614.56 | 311.18 |

連結貸借対照表

- **利益剰余金： 328百万円増**
12,298百万円(2009.3末) ⇒ 12,625百万円(2009.12末)
- **自己資本比率： 6.6ポイント減**
69.4 %(2009.3末) ⇒ 62.8%(2009.12末)
- **一株当たりの純資産： 311円増**
44,303円 (2009.3末) ⇒ 44,614円 (2009.12末)
- **総資産： 2,906百万円増**
25,631百万円 (2009.3末) ⇒ 28,537百万円 (2009.12末)
 - ・ 現金同等物： 146百万円増
11,514百万円 (2009.3末) ⇒ 11,660百万円 (2009.12末)
 - ・ X'mas商戦向け債権増、新製品立ち上げに伴う流動資産の増加
受取手形・売掛金、その他流動資産： 2,127百万円増
 - ・ 次期基幹業務システム投資、特許取得など無形固定資産の増加
ソフトウェア仮勘定、特許権： 618百万円増

連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

| | 第26期 3Q | 第27期 3Q | 対前年 同期比較 |
|---------------|---------------|---------------|-------------|
| | 08年4-12 月期 | 09年4-12 月期 | 増減額 |
| 営業活動 | 490 | 2,433 | 1,944 |
| 投資活動 | △1,024 | △405 | 619 |
| 財務活動 | △2,677 | △1,199 | 1,478 |
| 現金に係る 換算差額 | △410 | △184 | 226 |
| 現金増減額 | △3,621 | 646 | 4,266 |
| 現金期首残高 | 13,577 | 11,014 | △2,563 |
| 現金期末残高 | 9,956 | 11,660 | 1,703 |

営業活動

(単位:百万円)

- ・ 税引等調整前当期純利益 2,309
- ・ 仕入債務の増加 1,983
- ・ 売上債権の増加 △2,275

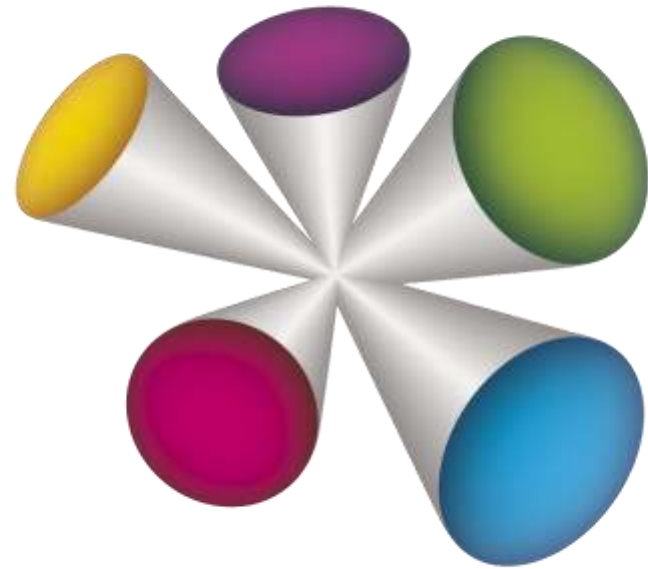
投資活動

- ・ 固定資産取得 △908
(ITインフラ投資、特許、金型等)
- ・ 有価証券の償還 500

財務活動

- ・ 配当金支払額 △1,200

第27期(2010年3月期) 基本方針と主要施策



第27期(2010年3月期)の基本方針

● 事業環境

- 世界金融危機は継続、世界経済の回復は長期化し、引き続き厳しいビジネス環境が続くと予想する
- また、PC業界においては低価格化やユーザインターフェースの変化などによる構造変化が進行する

● 当社の基本戦略

- 経営の安定性を重視しつつ、長期的成長に向けての新規UI技術や新製品開発、事業基盤整備への積極的投資を継続
- グローバルなブランド訴求によるリーダーシップ強化を図る

第27期(2010年3月期)の主要施策

- **全社コストコントロールの継続的推進と利益性確保**
市場環境の変化に対応した柔軟なコスト管理を継続
- **成長基盤強化のための積極的投資の継続**
新技術・新製品開発投資、ITインフラ投資、グローバル組織体制の強化
- **「Wacom」ブランドと製品ブランドの価値向上**
グローバルブランディング体制の推進によるブランド訴求強化
- **コンプライアンスの推進と徹底**
内部統制報告制度(J-SOX)のプロセス改善と強化

電子機器事業

- **プロフェッショナルタブレット**
Intuos4投入による新規ユーザ拡大と既存ユーザ買換え促進
- **コンシューマタブレット**
Bambooのブランド訴求強化、Windows 7への対応と付加価値向上によるコンシューマユーザの拡大

第27期(2010年3月期)の主要施策

- 液晶タブレット
Cintiqシリーズの製品訴求と製品ライン強化による売上拡大
- コンポーネントビジネス
マルチタッチセンサー分野のリーダーシップ確立
バーティカル・タッチ市場でのビジネス開発
パートナーシップの拡大による競争力強化
- 新規事業(NBD)、研究開発(R&D)
DJ機器nextbeatの欧州・日本市場投入
次期製品開発と次期基礎技術開発、グローバル開発体制強化

ECS事業

電気設計CAD市場のECAD/dioビジネスへ集中とシェア増加

SCM・管理部門

グローバルSCM、グローバルITインフラの整備

IP(知的財産)の管理・保全と充実

J-SOX 対応のグローバル体制整備と運用効率化

連結損益予想

(単位:百万円)

| 通期連結予想 | 前期実績 | 期初見通し | 修正見通し (1/27) | 修正見通し - 期初通し | 対前期 増減率 |
|--------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------|------------|
| | 第26期通期 2009年3月期 | 第27期通期 2010年3月期 | 第27期通期 2010年3月期 | | |
| 売上高 | 33,809 | 35,500 | 32,300 | △3,200 | △4.5% |
| 営業利益 | 4,311 | 3,550 | 3,000 | △550 | △30.4% |
| 経常利益 | 4,179 | 3,500 | 3,050 | △450 | △27.0% |
| 当期純利益 | 2,579 | 2,130 | 1,930 | △200 | △25.2% |

| 2H連結予想 | 前期実績 | 修正見通し (10/22) | 修正見通し (1/27) | 修正見通し (10/22) - (1/27) | 対前年 同期 増減率 |
|--------|---------------------|---------------------|---------------------|------------------------------|------------------|
| | 第26期2H 08年10-3月期 | 第27期2H 09年10-3月期 | 第27期2H 09年10-3月期 | | |
| 売上高 | 15,214 | 21,022 | 17,822 | △3,200 | 17.1% |
| 営業利益 | 1,756 | 2,401 | 1,851 | △550 | 5.4% |
| 経常利益 | 1,648 | 2,262 | 1,812 | △450 | 9.9% |
| 当期純利益 | 1,006 | 1,321 | 1,121 | △200 | 11.4% |

- 為替レート: 今期第4四半期は 1ドル90円、1ユーロ130円を想定

連結損益業績予想の前提(1月27日修正)

• 事業環境の前提

- 世界経済は最悪期を脱しつつあるが、新興地域以外では企業設備投資や個人消費の回復には時間がかかり、厳しいビジネス環境が続く
- デジタルコンテンツの世界的な需要拡大と新興地域での市場拡大の基調に変化なく、Intuos4の新製品効果でプロフェッショナル需要は安定的。ただし、液晶一体型など高価格製品は景気の影響が大きい
- コンシューマ向けはBambooの新製品効果とブランディングにより堅調
- MS社の新OS Windows 7は立ち上がったが、ノートPCにおけるマルチタッチ機能の認知は当初予想より時間がかかると予想。
- nextbeatは、初年度ということもあり十分な認知度を得られず苦戦
- ECS事業は、国内メーカーの設備投資の回復が遅れていることから、想定した売上の達成は困難
- 新型インフルエンザの世界経済への影響が限定的にとどまる

第27期(2010年3月期)配当金見込み

• 配当の基本方針

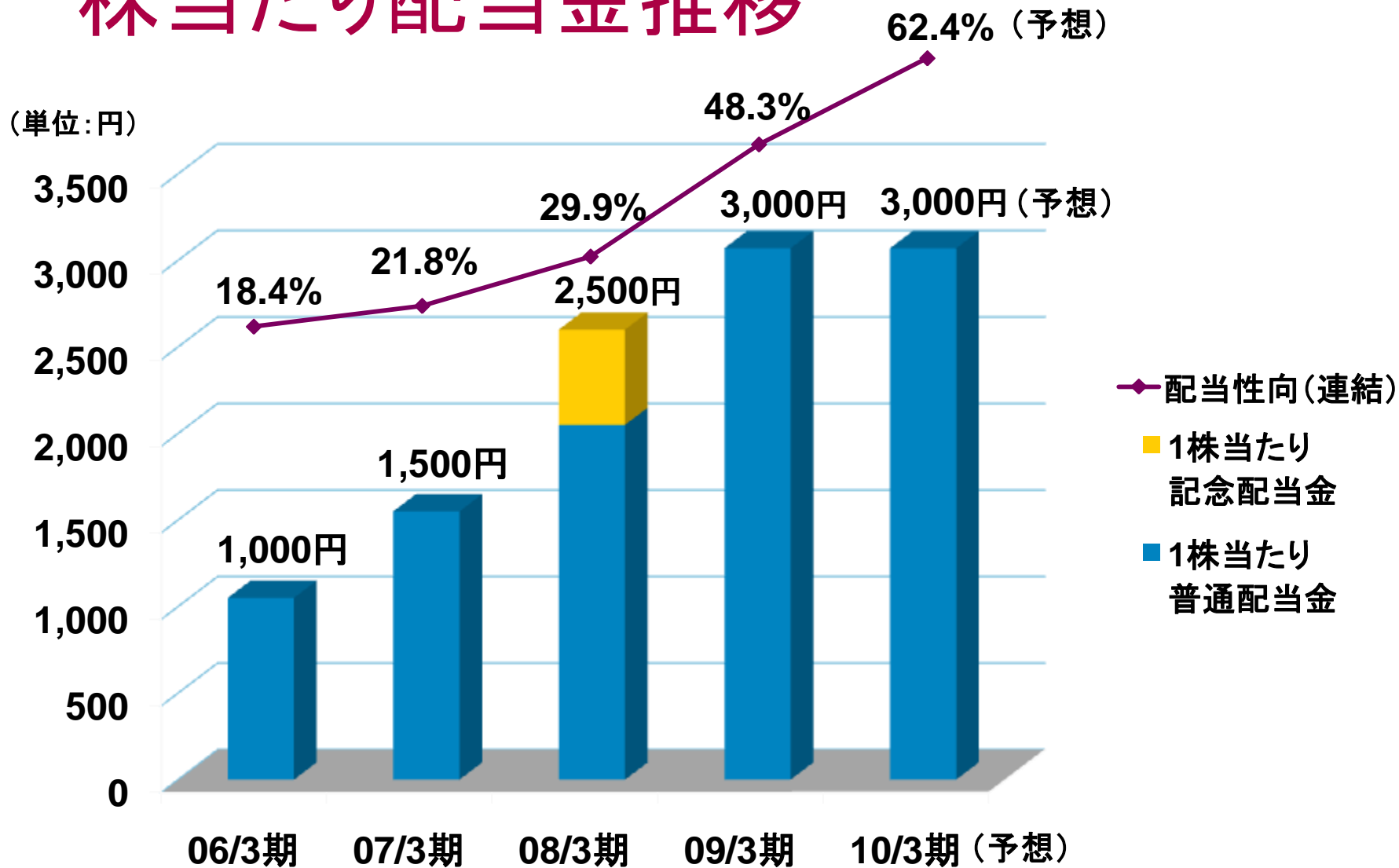
- 将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続する
- 配当性向は連結ベースで30%以上を目標とし、継続的な向上を目指す

• 1株当たり配当金

- 配当金 3,000円
- 配当性向 62.4%

(2009年3月期取得の自己株式 20,000株控除後)

一株当たり配当金推移



株式分割の実施履歴

2003年11月:普通株式1株につき5分割、2005年11月:普通株式1株につき4分割

中期計画に関する今後の方針

- 中長期的な継続的成長を指向する方針に変更なし
 - 新中期計画「WP1018」の達成時期の見直しを要する
 - 当面は経営の安定性を重視し、市場環境の改善を待つ
 - 事業成長に向けた開発投資、インフラ整備を継続する
- 事業ラインの基本戦略には変更なし
 - ITとUI技術の基本トレンドは継続
 - 現行製品ラインの継続的強化と成長
 - Windows 7のマルチタッチ対応へ製品群を移行
 - ブランド訴求とチャネル政策の強化
 - コンポーネント事業のソリューション化を推進
 - 新興地域の事業基盤強化を継続、IT投資の継続
 - 新規技術、新規事業への継続的投資

本資料のお取扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展などにより変動する事があります。従いまして、実際の業績などが本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

株式会社 ワコム
<http://www.wacom.co.jp>

株式会社ワコム 経営企画部 IRグループ
TEL : 03-5309-1525 FAX : 03-5309-1503
〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2
ハーモニータワー21階

